

教員紹介

氏名	坂東 俊矢	担当科目	消費者法
略 歴			
出身地	徳島県		
出身大学等	1981年 立命館大学法学部卒業（学士（法学）） 1983年 龍谷大学大学院法学研究科修士課程修了（修士（法学）） 1986年 龍谷大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学		
職 歴	1999年 京都学園大学法学部教授（平成15年3月末退職） 2003年 京都産業大学法学部教授（京都産業大学大学院博士前期課程指導教授） 2004年 京都産業大学大学院法務研究科教授（平成29年3月末まで） 2004年 弁護士（大阪弁護士会）（現在に至る） 2017年 京都産業大学法学部教授（京都産業大学大学院博士後期課程指導教授）（現在に至る） 2011年 九州大学法科大学院非常勤講師（消費者法・夏期集中講義）（令和6年9月まで）		
在外研究歴	1992年 イギリスロンドン大学クウイーンマリーカレッジ（1年間）		
社会貢献等	NPO 消費者支援機構関西（KC's）常任理事 NPO 消費者ネット関西副理事長 国民生活審議会自主行動基準検討委員会委員（2001年から2002年） 国民生活審議会消費者団体訴訟制度検討委員会委員（2004年から2005年） 国民生活センター紛争解決委員会特別委員（2006年から2018年） 京都府消費者保護審議会委員・委員長（2004年から現在に至る。委員長は2020年から現在に至る） 国民生活センター消費生活相談員資格試験委員会委員（2024年から現在に至る） 消費者委員会専門調査会「支払い手段の多様化と消費者問題に関する専門調査会」委員（2025年から現在に至る）		
主要研究業績等			

主 著 等	<p>主著</p> <p>坂東俊矢・高島英弘・住田浩史『消費者は弱くてもろい、だからこそ強くなる』現代人文社（2024年11月）</p> <p>坂東俊矢・谷本圭子・カライスコスアントニオス『これからの消費者法—社会と未来をつなぐ消費者教育（第2版）』法律文化社（2023年10月）</p> <p>坂東俊矢・細川浩一『18歳から考える消費者と法（第2版）』法律文化社（2014年8月）</p> <p>中田邦博・鹿野菜穂子編『基本講義消費者法（第5版）』日本評論社（2022年10月）</p> <p>主論文</p> <p>「未成年者保護法理の意義とその揺らぎについての法理論—クレジットによるネット取引と未成年者取消権の成否」産大法学 47 卷 3・4 号 188 頁（2014年1月）</p> <p>「若年消費者の契約被害の実際から考える消費者法の課題（再論）」消費者法研究 11 号（信山社）12 頁（2021年11月）</p> <p>「未成年者の行為能力の考え方に関する覚書—若者が適切な消費生活を送るための行為能力の考え方」改正を中心に」沖野等編『これからの民法・消費者法（1）河上正二先生古希記念』117 頁（信山社・2023年3月）</p> <p>「連鎖販売取引をめぐる法規制と被害救済の課題—マルチ商法を特定商取引法でどう規制すべきか」現代消費者法 59 号（信山社）74 頁（2023年6月）</p> <p>「オンラインゲームをめぐる契約に関する消費者紛争と未成年者法理」高森・小野賀編『民事法学の基礎的課題』89 頁（勁草書房・2017年10月）</p>
-------	--